



としょかんだより 12月号

船橋市立中野木小学校

12月は1年のしめくくりです。

本を借りたままで年をこさないよう、やくそくの日までに返しましょう。

読みおわらなかった本は、一度返す手続きをしてから、また借りましょう。

12月の貸し出しの予定

* 12月6日(金)まで通常の貸し出しになります。冬休み前の貸し出しは、12月9日(月)～12月20日(金)までです。ひとり5冊までかりられます。

* 予約の受け付けは12月13日(金)で終わりになります。

* 冬休み前に読み終わってしまった人でも、また借りることができます。

* 借りた本は手さげ袋に入れましょう。

* 1月の貸し出しは、7日(火)からはじめます。



<おすすめの本のしょうかい>



【低学年向き】

ウギのソロモン、へんしんする

ウィリアム・スタイグ 作

ウサギのソロモンは1つだけ特別なところがある。それは、いつでも好きな時にさびたウギに変身でき、また戻れること。それを秘密にしたまま、家族や周りの人たちをおどろかせていた。

ある日、恐ろしい猫に秘密がばれて捕まってしまう。釘のまま猫の家から逃げられなくなってしまう。ソロモンは家に帰れるのだろうか。

ひとつぶのおくりもの

マーシー・キャンベル 作

草原に住むおばあちゃんと男の子。大好きなおばあちゃんがくれたもののほとんどは手にもてないもの。小さなひとつぶの命をじょうずに育てる知恵や「しんぼうづよくまっごらん」という言葉。どんぐりを育てながら、ブランコとツリーハウスがほしいと願う男の子に、やがておばあちゃんとの別れが訪れる。

エスカレーターとエレベーター

小輪瀬 護安 作

8階建てのデパート「かがともや」に買い物に出かけたさんたろうくんがお母さんと一緒にのったのは、エレベーターとエスカレーター。離れた階へも素早く運んでくれるエレベーターとたくさんの人々を次々に運べるエスカレーター、それぞれのしくみや役割、特性を図解でわかりやすく紹介する。

【中学年向き】

どうぶつみずそうどう

かじり みな子 作

かえる村のとうきちは、なまずの大將たちと用水路を引き、田んぼで米を作って暮らしている。ところが新しい動物たちが引っ越してきて水不足がおき大騒動になる。仕方なく水桶で水を運んでいたとうきち。桶の下の方の穴から水が同じ量ずつこぼれるのを見て、円筒分水のしくみを思いつく。

ヨシ：3万7千キロをおよいだウミガメのはなし

リン・コックス 作

月が輝く夜、オーストラリアの浜辺で生まれたアオウミガメの赤ちゃんは、広い海へと泳ぎだす。ひとりぼっちでインド洋を漂い、やってきた。南アフリカの海で漁の網にからまり大けがをおってしまう。漁師に助けられ、「ヨシ」と名づけられたウミガメは水族館で暮らすことになる。

赤いめんどり

アリソン・アトリー 作

小さな家で一人ぼっちで暮らすおばあさん。話相手が欲しいと願っていると、小さな赤いめんどりがやってくる。働き者のめんどりは家事も針仕事も上手。おばあさんの生活は豊かになっていく。しかし、そこにけちで欲深い元の飼い主が現れ、めんどりをつれさっていく。

【高学年向き】

生まれかわるヒロシマの折り鶴

佐藤 真澄 作

平和記念公園にある「原爆の子の像」のもとに、年間約10トンもの折り鶴が国内より贈られてくる。捧げてくれた人々の思いを生かす道はないだろうと試行錯誤を繰り返し、折り鶴再生循環プロジェクトが立ち上げられる。

かわらばん屋の娘

森川 成美 作

外国船の来訪や天災、疫病の危機に見舞われた江戸末期、13歳の吟は瓦版の絵を描く一方、家事も弟の世話も一手に引き受けていた。ところが父が突然いなくなる。吟はひよんなことで出会った悠三郎の力も借りながら、瓦版を売り続ける。そんな中で父が尊王攘夷派の水戸藩士であったことがわかる。